

学校だより  
「まんだ」  
No. 5

# 自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

今回の学校だよりは、「〇〇って難しい！」シリーズ。学校の中のいろいろな「難しい」を集めてみました。

みんなの意見を取りまとめるのも、より良い考え方を作り出すのも、よく考えてみると難しいことです。自分の意見が採用されずに悔しい思いをすることだってあります。そんな時にどうするか？が勉強なんだと思います。友達がいるからこそできる学びです。



## 分数って難しい！

$$\frac{2}{3} \div 3 = \frac{2}{3 \times 3} = \frac{2}{9}$$

6年生の教室をのぞくと分数の割り算を勉強しています。黒板を見ると、 $2/3 \div 3 = 2/(3 \times 3) = 2/9$ と書いてあります。思わず「難しい！」とつぶやくと、6年生の女の子が「校長先生は、算数が苦手なんですか？」と。「いやいや、どちらかと言うと、算数は得意な方だった。でも、説明するのは難しいと思わない？教えるのはもっと難しい！」と言いました。割り算なのに、どうして分母に掛け算をするんだろう。その説明は難しい！

6年生の保護者の皆さん。お子さんが帰ってきたら、是非「分数÷整数は、割り算なのにどうして分母に掛け算するの？」と聞いてみてください。あやふやな説明をした挙句、最後はおそらく「だって学校で習ったから！」という答えが返ってくるでしょう。

## 反復横跳びって難しい！

スポーツテストに「反復横跳び」と言うのがあります。体育館に1m間隔の3本の直線を引き、その直線をまたぐようにサイドステップを踏みながら、20秒間で行ったり来たりするというやつです。これは敏捷性を見るテストですが、小学生にとってはとても難しいテストの一つです。

6月3日、6年生と1年生が体育館で反復横跳びをしています。1年生は、6年生の真似をしながら練習します。最初、中央の線をまたぐように立ち、左右どちらかの線までサイドステップで移動するのですが、足がもつれる子が続出。中には、せえのっと両足ジャンプで横っ飛びしながら反復して、タイムを大幅にロスしている子もいます。

※以前、私は、反復横跳びの仕方を子供に教えるとき、「トントントン」というリズムで教えていました。子供って、頭で考えれば考えるほどわからなくなるようだ。

そんなこんな反復横跳びも、6年生になれば上手になっていて、子供の成長を感じます。「自分も1年生の時はこんなかんじだった」と自分の成長を感じながら教えてくれるといいなあと思います。



リコーダーって難しい！ 音楽室では、5年生がリコーダーの勉強をしています。きれいな音が聞こえてきている中に、ときおり、不協和音が聞こえてくるということは、だれか間違っているのでしょうか。でも、誰が間違ったのか追求しないところがやさしさというもの。だって、リコーダーって難しいです。リコーダーの穴を、指で隙間なく押さえることも難しい子がいます。ましてや、指を正しく動かしながら同時にタンギングするなんてことは神業。

それでも、子供のころの私は、「リコーダーって神！」と思っていました。ひどい音痴だった私は、どんなに正しく歌おうとしても音程を外してしまいます。ところがリコーダーは、指さえ間違わなければ、正しい音が出てきます。まさに神！おかげで音楽好きになりました。

音楽の時間が大嫌いだった私が、まさか音楽好きになるとは思いもよませんでした。難しいこと、苦手などに出会うことは、自分を変えるチャンスでもあるなあと常々思います。

直線を引くって難しい！ 2年生が、定規で直線を引く勉強をしています。大人にとっては簡単に思えることも、子供にとっては難しいことってよくあります。担任の先生が「鉛筆を持ってない方の手で定規をしっかりと押さえとかんと、途中でズれるよ。」と言っています。確かにそんな子がいます。「最初の目盛りからスタートして、2番目の目盛りでピタッと止めるよ。」と先生の指示。なるほど、10cmの直線を引くんでしょうが、う~ん、明らかに10cmより長そうな子もいます。隣同士で交換して、10cmになっているか確認しています。難しいからこそ、勉強。いい勉強をしているなあと思いました。

